

土尻川砂防事務所管内の主な親水施設

環境に配慮した丸切沢遊砂地の取り組み

溪流の安全性を高め、自然とのふれあいができる空間をめざしています！！

土尻川砂防事務所では、丸切沢流域で砂防事業を進めています。この事業の一環として、この場所に遊砂地を計画しています。ここでは、砂防施設を設置し、丸切沢の安全性を高めるとともに、植生の復元や、もともとあった農地の水辺環境を再生して、人と自然が共生できる環境にも配慮した空間を整備します。

遊砂地の働き

丸切沢のような溪流では、大雨と一緒に大量の土砂が流れます。遊砂地は、この土砂を一時的に貯める施設です。

大雨が降ると、山が崩れて大量の土砂が流れ、下流の人家に被害を及ぼす可能性があります。流れてきた土砂を、遊砂地に一時的にためることができるので、被害が防止できます。

丸切沢にいる水生生物

水のなかには、魚や小さな虫などいろいろな水生生物が暮らしています。丸切沢には、きれいな水に暮らしている種類が多くいます。

みなさんも、身近に見られる水生生物を観察してみよう。

流れの穏やかな場所

流れ

環境に配慮した工法

まわりの森で種子をとって、苗木を育てます。その苗を植えて森づくりを計画しています。これを幼苗植栽といいます。

周辺との環境の調和を図るために、ヨモギ、ススキなどの在来種で法面保護します。

法面緑化

断面図

小川 高水敷 低水敷 常水路 高水敷護岸 管理用道路

水生生物が暮らしやすいように流路工を工夫しています。水量が少ない時期でも流れを確保するために、常水路を設置します。また、水量が多くなるにつれて、低水敷、次に高水敷が流路になります。

高水敷まで増水したときのため石積み護岸を設けます。

遊砂地の施設

沢の浸食を防ぐために、自然石を用いた護岸を設けます。河床の浸食を防ぐために、床固工、帯工を設けます。落差があるものを床固工、落差をもたないものを帯工です。

樹木、草地で覆います。

床固工

帯工

床固工には、水生生物が自由に移動できるように自然石で段差をつけます。

これまでの取り組み

丸切沢の自然環境に配慮するため、工事前から地域の方々と一緒に様々な取り組みを行っています。

- 意見交換会
- 環境説明会
- 水生生物観察会
- 植栽する苗木の準備

工事前に、どんな水生生物が暮らしているのかを調べました。この遊砂地の計画地を調査するの場として利用してもらっています。

小学校では、林のなかで種子を拾い、ポットに植え、苗木を育てています。この苗は、遊砂地で植栽する予定です。

問い合わせ先

長野県土尻川砂防事務所 TEL : 026-229-2511 E-mail: dojirisabo@pref.nagano.jp

『長雨や大雨の後は、土砂発生可能性がありますので、遊砂地内に入らないでください。』

平成16年3月作成

大町市美麻にある砂防河川の丸切沢では、大雨の際に流出する土砂が下流に被害を与えないように一時的に土砂を溜めるための遊砂地が整備されていますが、丸切沢では地元漁協が魚を放流したり自然環境が豊かなことから、自然環境や自然とのふれあいに配慮した工法を採用しました。工事着手前に地元の方々の意見をお聞きしたり、工事完成前後に地元小学生を対象とした水生生物の観察会を実施しています。



現在は、地元の犀川殖産漁業協同組合美麻支部の皆さんと砂防等施設維持管理ボランティア協定を結び、施設周辺の草刈り等の維持管理をお願いしています。

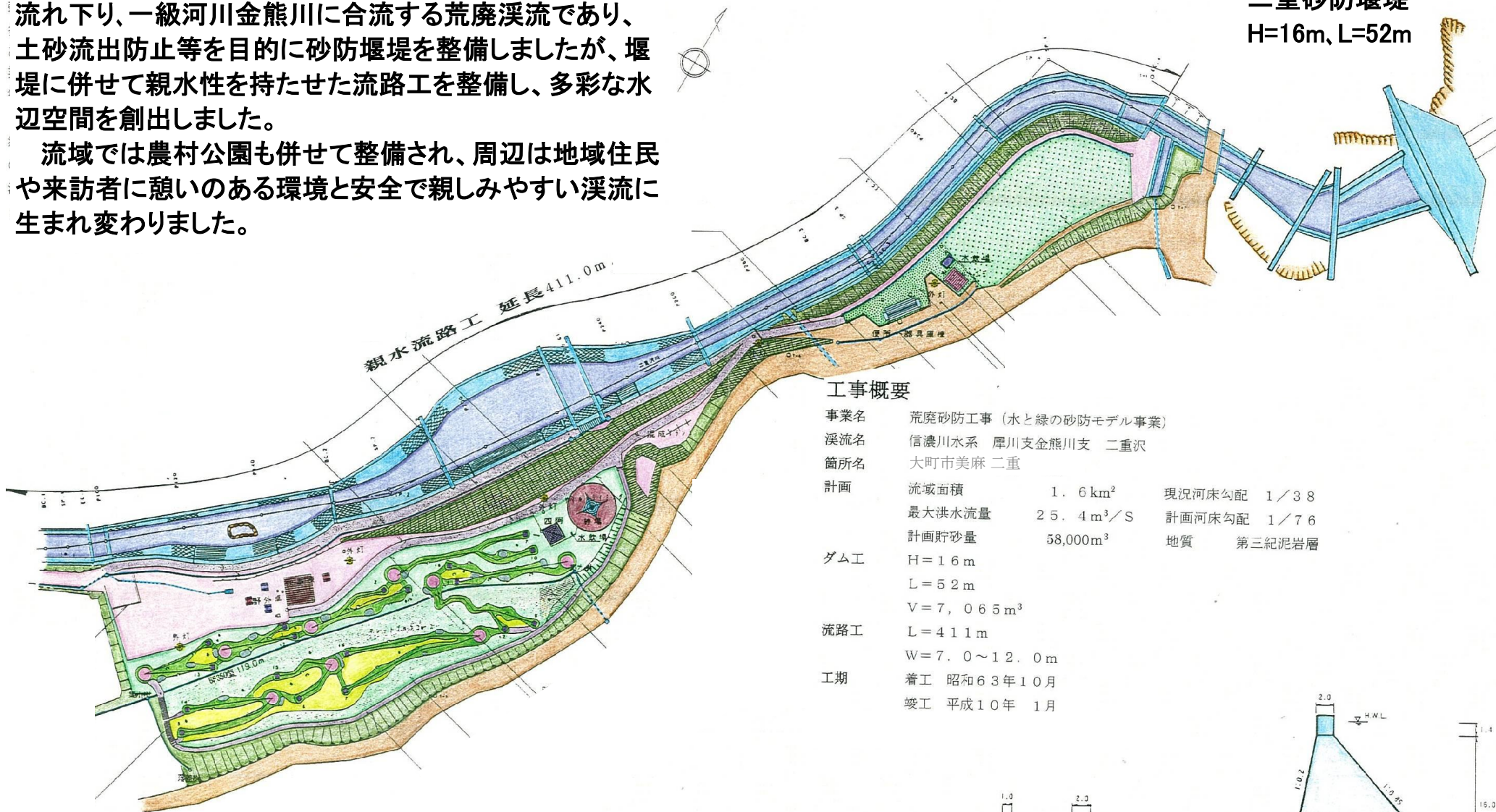


遊砂地は、県道青具築場(停)線沿いにある、地元の皆さんに親しまれ、よく利用されています。

大町市美麻にある砂防河川の二重沢は、美麻中央部を流れ下り、一級河川金熊川に合流する荒廃溪流であり、土砂流出防止等を目的に砂防堰堤を整備しましたが、堰堤に併せて親水性を持たせた流路工を整備し、多彩な水辺空間を創出しました。

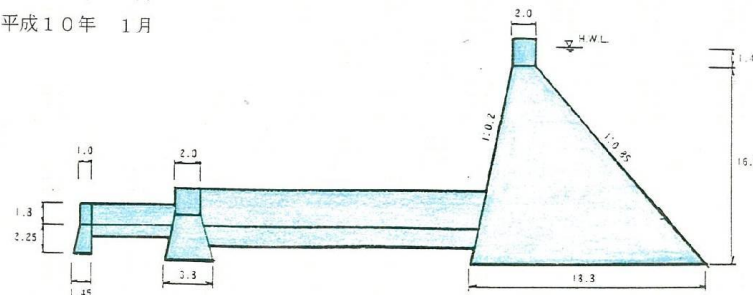
流域では農村公園も併せて整備され、周辺は地域住民や来訪者に憩いのある環境と安全で親しみやすい溪流に生まれ変わりました。

二重砂防堰堤
H=16m、L=52m



工事概要

| | | | |
|-----|---------------------|------------------------|-------------|
| 事業名 | 荒廃砂防工事（水と緑の砂防モデル事業） | | |
| 溪流名 | 信濃川水系 犀川支金熊川支 二重沢 | | |
| 箇所名 | 大町市美麻 二重 | | |
| 計画 | 流域面積 | 1.6 km ² | 現況河床勾配 1/38 |
| | 最大洪水流量 | 25.4 m ³ /S | 計画河床勾配 1/76 |
| | 計画貯砂量 | 58,000 m ³ | 地質 第三紀泥岩層 |
| ダム工 | H | 16 m | |
| | L | 52 m | |
| | V | 7,065 m ³ | |
| 流路工 | L | 411 m | |
| | W | 7.0~12.0 m | |
| 工期 | 着工 | 昭和63年10月 | |
| | 竣工 | 平成10年1月 | |





大町市で維持管理している水道、照明やバーベキューも行える施設が整備されており、夏には利用者が賑わいます。



周辺は標高800～900mで豊かな自然環境が残されており、安定した河床には多彩な水生生物が生息しています。

清らかな水、豊かな自然環境を、 守り継承する、知恵と技術。



自然のままのせせらぎ



水路式隔壁階段魚道



全断面多段式魚道



遊砂池工

流出土砂をこの池で貯めて、
下流域への土砂流出を抑えるための施設です。
土砂は一杯になれば搬出し、再び流出土砂に備えられます。



自然石張り魚道

魚道工

この区域には、イワナが定着・繁殖しています。
砂防施設によって生息域を分断しないよう
魚の通る道(魚道)を設置しました。

長野市大岡の樋ノ口沢は、イワナが定着・繁殖している豊かな自然環境が残されており、自然環境に配慮した溪流保全計画に併せて周辺を散策できる木道や広場を備えた自然公園が整備されています。



自然公園は、協定により長野市が管理しており、管理の行き届いた公園は来訪者にも好評です



ベンチ代わりに腰掛けられる
階段落差工等は、丸太型枠を
用いて景観に配慮しています

溪流保全工では、常時の水は魚道を流れ、流路内に魚の
隠場や餌の生息地を兼ねる遊水池を三ヶ所配置しました



流路は、覆土した隠し護岸とすることで水際まで自然植生が入り込む川岸にしています